

奥武蔵 姥小屋沢 沢登り山行報告

【日 時】9/22(日) 晴れ

【山 域】奥武蔵

【参加者】CL 柘植、飯田、小宮山、高山（記録）



（遡上コースは地図上に黄色く蛍光表示、右は遡行図）

【特別なご挨拶】

台風15号の影響を受けてご不便な生活を強いられている方々に心よりお見舞いを申し上げます。
と思います。一刻も早い復興を遂げて一緒に山行へ行きましょうね。

【内容】

今回のシルバーウィークはまたもや雨天の予報で、前から予定していたキャンプ場トレジャーが余儀なくキャンセル、三日間もあるのにどこにも出かけられないかとウズウズしていたところ、
天気のを読んだ柘植さんの日帰り姥小屋沢沢登り声掛けにまっすぐ飛びつきました。これで、
柘植さんの「手のひら山行（手軽に電車で行く日帰り山行）」に参加するのは前回の兵ノ沢に続いて
9月中で2回目となり、しかも2回も記録係の重責を任された厚い信頼に感謝、感謝。

【行程】西武池袋 7:05⇒（西武快速急行）7:49 飯能 8:00⇒（バス）さわらびの湯 8:45→姥小屋沢入渓地点 9:50→（姥小屋沢遡行終了 11:50）林道→（滝ノ平尾根下降）→さわらびの湯バス停 13:30（入浴後 14:46 発バス）⇒飯能（16:05 発西武鉄道池袋行）電車で帰葉

以下写真を中心に記録をまとめてみました。



出発前の雄姿



ロックフィルダム



途中のカヌー工房

入渓地点が名栗湖の上流にあるため、さわらびの湯バス停でバスを降りてからダム堤体に向かってテクテク 5 分程度で堤体に着きます。堤体を渡れば今回遡上の沢の源流の山である棒ノ嶺へは関東ふれあいの道があるが、われわれはそちらに目を向けず名栗湖左岸の道路を歩いて入渓地点に向かいます。45 分程度歩いて、ガードレールの切れ目がダム上流の入渓地点となるが、よく見ないと見逃してしまいます。入渓地点が砂防ダムの直上流なので、流れ落ちる人工滝の音がするはずだと柘植氏の事前情報が入渓地点の識別の手がかりとなりました。



ダム上流端



道路から見下ろした砂防ダム



姥小屋沢と有間川との出会い



出会いの滝、落差4m以上の垂直壁



とっつきにくいので左岸側で巻く



せせらぎ状態で水量が豊富



ちょっと登れそうにない滝が登場

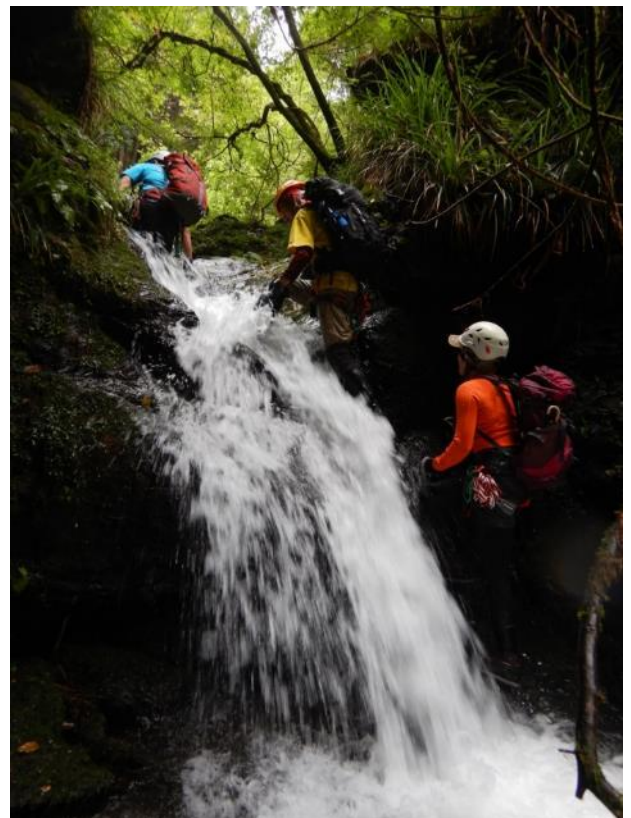


今度は登れそうな小滝



右から左から

落差2～3mの小滝を
連続して2つ乗り越えてい
く柘植し、飯田さん、
小宮山さん。
ふい〜〜、爽やかだあ！



シャワーを浴びて快適！



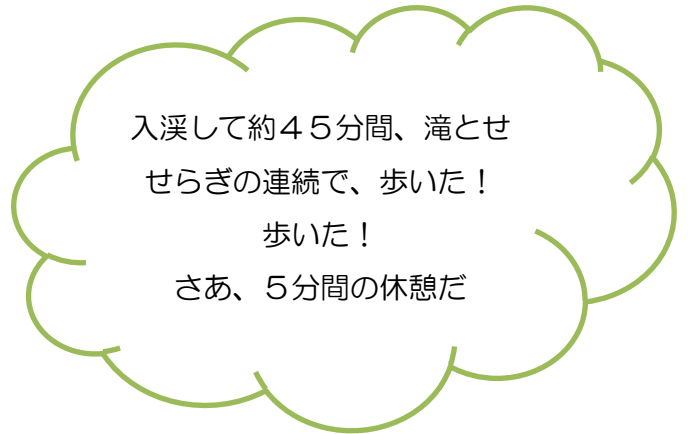
更に滝を乗り越えて



さあ、どうしようかなあ？



左壁から巻きぎみに



入渓して約45分間、滝とせ
せらぎの連続で、歩いた！
歩いた！
さあ、5分間の休憩だ



小宮山さんファイトー発〜ッ



優美な多条滝

休憩後の遡上で、二股という出会いを左の本沢に選び、更にいくつかの滝を乗り越え、水量が次第に小さくなり、やがて河床の下に消えていきました。涸れ沢に沿ってしばらく登っていくとU字排水溝が見えてきたので、先に白いガードレールも目印に林道が横切っているのはわかりました。しかし、林道手前の二三十メートルは本格的急登できつかったのです。



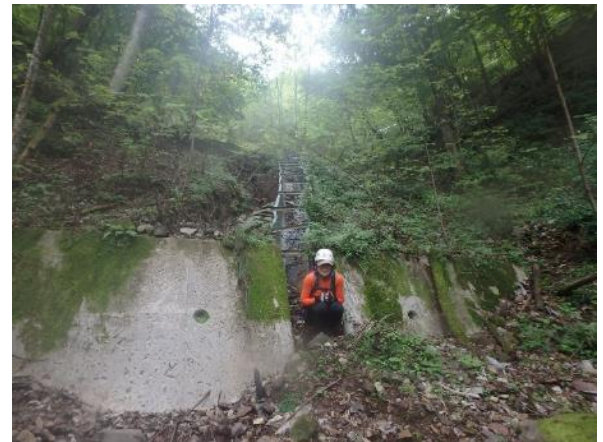
水量が絞っていく



まだまだ滝が出てくる



最後の二股（我々は左へ）



人口のU字溝が出てくると間もなく終了



最近はこの終了の仕方も多い（涙）



林道で沢道具始末

全長約2KM の沢で標高差400メートル程度、帰り道も相応な下りをこなして行くわけであり、滝ノ平尾根が木の根っこだらけで、足元に注意しながら慎重に歩き、一時も気が抜けることは絶対できない状態で1時間以上、やあ、疲れたっ！ それゆえに、お風呂タイムのあと、爽やかな身で帰路の電車中の冷たいビールが最高に旨かった！



滝ノ平尾根を降りる



パーティの女神が見つけた可憐な10月桜

天気にいたずらされて危うく家籠りの3連休と化してしまったところ、楽しい沢登りの1日をプレゼントしてくださった柘植さんと飯田さん、小宮山さんに感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。サンキュー！！

記録担当：高山